

## 【 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表 】

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			改善として、楽器部屋・勉強部屋を分け、音を聞こえにくくすることで集中して取り組めるようにしました。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			はい、職員の配置数は常に確保しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	室内の段差はありませんが、玄関の段差には怪我をしないように声がけを徹底しています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			月2回職員で会議を実施し、改善点など意見を交換しています、
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか			○	アンケート調査は実施していませんが、密にコミュニケーションを取り、意向等を伝えやすいようにしています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで誰でも見れるように自己評価表を公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			第三者による改善点のご意見を頂いたので、全職員に共有した後、改善しています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎月、利用者の療育に関する必要な事を職員間で研修（ケース会議）を実施しています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントシートを書いてもらい、どういったことが苦手なのかを理解したうえで計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートを活用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			全職員が会議で、利用者に向けた活動プログラムの案を出し合っていて決めています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用者についてケース会議を毎月行い、何がどう成長したかを話し合い、活動プログラムを職員で見直している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日、休日、長期休暇、それぞれに課題を決め、また、利用者にも、より積極性を持たせるために、役割分担を決める時間を設けています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			その場の状況、子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせ、計画を作成しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			必ず打合せをして、更には、その内容の必要事項や役割分担を掲示板に書き記し、指導員各自が、再確認できるように徹底しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後の打合せや、振り返りは、特に重要と考え、気付いた詳細な点を共有し合い、サービス提供記録に記録しています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日、正しく記録をとっていることで、改善に向けた考えを新たに生み出す事が多く、支援の検証には多いに役立っています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			日々の支援の記録と照らし合わせながら、計画の見直しをしています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			単に基本活動を複数組み合わせるのみならず、そこに、子どもの楽しみ（音楽・楽器練習・工作等）を加味出来るよう支援しています。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			その利用者を最も理解している職員はもちろん、他の職員ももっと理解できるように複数で参画しています。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			保護者様から学校の計画・行事表を頂く事で、理解を深めることが出来ています。必要があれば利用者の担任の先生と電話で連絡させて頂き、連携を深めています。

関係機関や保護者との連携	②②	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		現在、該当者はありませんが、受け入れる場合は、主治医と連絡体制を整える事は十分に可能であり、経験上、心得ております。
	②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		保育所や幼稚園、認定子ども園とは情報共有できていませんが、児童発達支援事業所との情報共有はとても行っており、利用者を今後どう療育していくかを入念に話し合っています。
	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		現在、該当者はありませんが、会議は必ず設け、情報を提供していきます。
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		専門機関と連携し、助言や研修を受けています。
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	障がいのない子どもと交流することはとても重要なことだと思うので、今後障がいのない子どもとの交流をしていこうと思います。
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		積極的に参加するよう努めています。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		支援終了後、一日の状況を保護者に伝え、楽器のできるようになったところや、今後の課題について等を話し合い、相互に理解を持っています。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	ペアレント・トレーニングの支援は行っていませんが、第一に保護者の声を受け入れ、肯定する事が重要と思慮いたします。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時、運営規定をゆっくりと読み上げ、具体例を挙げながら補足説明をして、質問はその場でお応えしています。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○	悩みの内容にも寄りますが、学校側と連携して解決に至る事も多くあります。私共は微力ながら、必要な助言と支援を精一杯務めさせて頂いております。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者同士の連携は、新型コロナウイルスの感染予防を徹底し、長期休暇を利用して、イベントに参加して頂けますよう、更に努めてまいります。
非常時等の対応	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		まず、事実をお互いに把握する事で、誤解や曲解を免れ、解決が早く、迅速に対応しています。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	会報は発行していませんが、支援開始前、支援終了後の時に行事予定もお伝えしています。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報は常に念頭にあり、言動にも十分注意し、書類等は鍵のかかったロッカーに保管しています。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		利用者には、口頭だけで説明するのではなく、わかりやすいように文字や絵でも説明するようにしています。 保護者には送迎時にコミュニケーションをとって、保護者の意向が伝わりやすいようにしています。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	招待する機会は設けていませんが、新型コロナウイルス感染の心配もあるので、職員と慎重に考え、予防を徹底して、今後地域の交流会に参加していこうと思います。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	様々なマニュアルを作成しており職員は理解を徹底して訓練していますが、保護者には、周知してないので改善していきます。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		一年に一度、消防士の指導のもと、避難訓練を行っています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		毎回の研修会で得た具体例を積み重ね、参考にして対応しています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		身体拘束を行うかの重要性について、きちんと理解し、契約時に、“お互いの命を守る”ために了承を得て、承諾書に押印して頂き、放課後等デイサービス計画に記載します。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	現在アレルギーの子供は在籍していませんが、医師の指示書に基づき、調理器具を別にして対応します。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事業所を開設して間もないので、ヒヤリハットの事例はありませんが、今後ヒヤリハットが起きた場合事例集を礎に置き、事業所内で共有していきます。

## ★保護者向け★ 放デイサービス評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	100%			
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	80%		20%	Q.玄関に段差あり A.玄関に段差がありますが、転倒しないように利用者が近づかないように気を配り、声かけを実施している。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	100%			
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	100%			
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			100%	Q.児童館との交流はない A.新型コロナウイルス感染の心配もあるので、職員と慎重に考え、予防を徹底し、できるだけ障がいのない子どもと交流していきます。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%			
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0%	20%	80%	Q.事業所との交流はない A.保護者同志の連携をとれるようにするのが今後の課題です。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	60%	20%	20%	自己評価の結果をホームページで発信しています。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	100%			
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	20%	10%	70%	Q.保護者には周知・説明をされていない A.保護者との綿密なコミュニケーションが今後の課題です。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	80%	0%	20%	避難訓練を年1回実施しています。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	100%			
	⑱	事業所の支援に満足しているか	100%			